

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	ボランティア実習				
担当者氏名	中村 哲也				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ○ 専門応用-4 発達の深い理解				

《授業の概要》

①事前指導で、ボランティア活動の意義、ボランティア先の探し方、実習の心構え、実習先でのコミュニケーションなどを講義において確認する。②実習は、各自で活動先を探して、実際にボランティア活動を行い、ボランティアの役割・倫理を実践的に学習する。③事後指導は、実習体験を報告し、体験を自分の将来にどのように生かすかを考える。

《テキスト》

使用しない

《参考図書》

必要に応じて資料を配布する。

《授業の到達目標》

ボランティア活動の意義やボランティアとしての役割・倫理・心構えについて実践的に学習し、人生観・社会観を広げていく。

《授業時間外学習》

学外・授業時間外での実習（ボランティア活動）が中心となる科目である。授業時間内でボランティア先の探し方や連絡方法は説明するが、実際にボランティア先を探し、連絡し、ボランティア活動を実践するのは受講者自身である。実習（ボランティア活動）を行う上で相談したいことが生じた場合は、授業時間外でも相談に応ずるので、研究室に来訪すること。

《成績評価の方法》

平常点（授業への出席） 20%

提出物60%（ボランティア報告書 プレゼン資料）  
発表 20%（ボランティア報告）

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校教員の経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の説明 今までのボランティア体験についての発表 実習関係書類の作成方法
2	実習事前指導	平野みんな食堂についての活動について知る 実習の心構え 実習方法
3	ボランティア実習①	ボランティア活動の実践
4	ボランティア実習②	ボランティア活動の実践
5	ボランティア実習③	ボランティア活動の実践
6	ボランティア実習④	ボランティア活動の実践
7	実習中間報告	ボランティア活動報告の作成と、全体報告会 ボランティアの探し方・連絡方法
8	ボランティア実習⑤	ボランティア活動の実践
9	ボランティア実習⑥	ボランティア活動の実践
10	ボランティア実習⑦	ボランティア活動の実践
11	ボランティア実習⑧	ボランティア活動の実践
12	活動報告書の作成	ボランティア活動報告の作成
13	活動報告会準備	プレゼンでの発表準備
14	ボランティア報告会	プレゼンでそれぞれの活動を報告する
15	学習のまとめ	ボランティア実践を通して学んだことをレポートにまとめる